

子供と自然をつなぐ地域プラットフォーム形成支援事業 地域の自然環境や教育資源を活用した事業

「鳥取発！体験活動Geoベース」形成事業

鳥取市教育委員会事務局生涯学習・スポーツ課

【事業のポイント】

- 鳥取砂丘周辺で行う事ができる複数の体験活動を組み合わせた試行プログラムの作成と実施
- 試行プログラムと鳥取での体験活動をPRする動画の作成
- 鳥取市内で行う事ができる体験活動を取りまとめた体験活動マップの作成



1. 企画

(1) 事業実施の背景

本市は、代表的な観光地である鳥取砂丘の周辺に「鳥取市サイクリングターミナル」や「柳茶屋キャンプ場」を整備し、これら施設を活用しながら青少年の健全育成等に取り組んできた。

このような中、平成22年に鳥取砂丘～白兎海岸が「山陰海岸ジオパーク」の一部として世界ジオパークに認定され、平成26年にはそのエリアが白兎海岸以西に拡大された。この認定を契機として、ジオパーク内の地形や地質、これらを背景とした生き物や人々の暮らし、文化・歴史等を活用した様々な活動が展開されるようになってきた。さらには、今後環境省が鳥取砂丘周辺にビジターセンターの整備を計画する動きもあり、「山陰海岸ジオパーク」内では今後交流人口の拡大も期待できる状況にある。

「山陰海岸ジオパーク」内では様々な団体が子どもたちを対象に魅力的な体験活動を提供するようになってきているものの、子どもたちへ情報を整理し提供する能力が不足しており、今後この各団体の連携強化が課題となっている。

そこで、各団体の連携を強化し、子どもたちに充実した体験活動の機会を提供するため、地域プラットフォームを設置し、情報の収集・発信等を行う持続可能な体制の整備を図る。

(2) ねらい

本プラットフォームを形成することで、市民に子どもたちにとって体験活動の重要性が認識され、「このために何かしたい。」という自発的意識が芽生える機運が醸成されることにより、

- ①団体間ネットワークの構築による連携強化
- ②体験活動を提供する団体の増加
- ③体験活動の質の向上を図る。

2. 実施概要

(1) 地域プラットフォームの構成

- 学校：小学校教諭
- PTA：市小学校PTA連合会 代表
- 団体：実践団体 鳥取県自然体験塾 代表
- 企業：実践団体(株)ゼロ 代表取締役
- とっとり因幡グリーンツーリズム推進協議会 事務局
- 鳥取市企画推進部地域振興課 職員
- 鳥取市経済観光部鳥取砂丘・ジオパーク推進課 職員
- 鳥取県立博物館 職員(中学校教諭)
- 鳥取県東部振興課 職員
- サイクリングターミナル職員(2年度目より)
- 大学：鳥取環境大学 学生代表(2年度目より)

(2) 具体的な取組の概要

①事業概要説明会の開催(委託事業費対象外)

内 容:子どもたちにとって体験活動の重要性やプラットフォームの必要性等について共通理解を図り、プラットフォーム形成のきっかけづくりとする。

②ワークショップの開催

- 内 容: 1)山陰海岸ジオパークに存在する体験学習資源の洗い出し・実態把握を行い、それらの連携・協働を図った効果的な体験学習プログラムを試作する。
2)体験学習資源の情報をまとめたマップを作成する。

③Geoベース会議

内 容:ワークショップで集積された情報とアイデアをもとに試行実施プログラムを具体化し作成するとともに、実施体制の構築を協議する。試行実施プログラムの効果検証、事業成果の確認、持続可能な方策の検討を行う。

④体験活動プログラム試行実施

内 容:「山陰海岸ジオパーク」内の様々な体験学習資源を体系的なプログラムにまとめ、子どもたちに体験してもらうことで地域の魅力の再発見、自主性や協調性の育成、郷土愛の醸成に努める。

実施日:平成28年 8月22日, 23日 1泊2日
平成28年10月29日, 30日 1泊2日

⑤記録映像製作

目 的:「山陰海岸ジオパーク」における自然体験活動を県内外の学校や体験活動に取り組む団体へPRすることを目的として、地域の諸団体を活用して体験活動プログラム試行実施の様子を撮影・編集し、プロモーションビデオを制作する。

(3) 実績スケジュール

月 日	内 容
6月9日	団体説明会:事業概要説明会(委託外)
6月27日	第1回Geoベース会議(設立・事業概要説明・日程等の調整)
	第1回Geoベース ワークショップ(地域の体験活動資源洗い出し)
7月11日	第2回Geoベース ワークショップ(試行プログラムの検討)
7月15日	第2回Geoベース会議(試行プログラム, 実施体制の策定)
7月21日	試行プログラム(夏編)参加者募集開始
8月22日	体験活動プログラム(夏編)一日目試行実施・映像撮影
8月23日	体験活動プログラム(夏編)二日目試行実施・映像撮影
9月20日	試行プログラム(秋編)参加者募集開始
10月29日	体験活動プログラム(秋編)一日目試行実施・映像撮影
10月30日	体験活動プログラム(秋編)二日目試行実施・映像撮影
11月18日	第3回Geoベース ワークショップ(体験活動マップの検討)
12月8日	第3回Geoベース会議(事業成果の確認, 体験活動マップの決定)
1月31日	体験活動マップ納品, 体験活動PRビデオ納品
2月17日	第4回Geoベース会議(事業の振り返り, 翌年度の体制の検討)
3月10日	PRビデオ公開

3. 成果と課題

(1) 成果

Geoベースというプラットフォームを形成したことにより、体験活動を提供する各種団体、行政、青年団体、大学生等の中でネットワークを構築する事ができ、事業の目的を共有する事ができた。試行プログラム、体験活動マップ及びPRビデオを作成する事で、翌年度以降の情報共有や情報発信の手段を得る事ができた。

(2) 課題

体験活動マップとPRビデオを活用した体験活動情報の発信方法について、インターネット以外の方法として、各種団体の協力を得ながら広く展開する事が重要となってくる。
試行プログラムを活用するためのガイドラインを作成し、誰でも手軽に体験活動に取り組むことができるようにする必要がある。

市民に子どもたちにとって体験活動の重要性が認識され、「このために何かしたい。」という自発的意識が芽生える機運を醸成するためには、地域・家庭・学校への積極的な情報発信が必要であるとともに、Geoベースにおいて体験活動の重要性を広く周知していく必要がある。

4. 地域プラットフォームの展望(今後の方向性・取組等)

- ①平成29年度は、本年度作成した「体験活動マップ」ならびに「試行プログラムPRビデオ」を利用し、各種団体へのPRを進めるとともに、Geoベース加入を促進し、体験活動情報の収集と一元的なPRに努める
- ②ホームページデザインの自由度は低いですが、体験活動情報の公開を継続し行う。
- ③Geoベース会議は、引き続き子ども達への体験活動提供のための取り組みについて議論する場とする。委員には、体験活動に取り組む団体のほか、体験活動に詳しい有識者を加えたい。
※追加団体の候補として、ポニーキッズ、ボーイスカウト、ガールスカウト、公民館などが考えられる。
- ④Geoベース会議において、
 - ・Geoベースに加入する意義や効果についてとりまとめる
 - ・子どもに提供する体験活動の質について検討する
 - ・親の関わり方について、どこまで必要か等検討する
 - ・効果的な情報提供の在り方について検討する
- ⑤市外・県外への情報提供の手段として、体験活動マップを増刷し、様々な施設に配架する、県外PRの際に配布等を依頼する。あわせてPRビデオも活用できるようにする。
- ⑥学校において体験活動マップやPRビデオが地域学習等の教材として活用できる方法を検討し、利用の手引きや指導案といった形で提案できるようにする。

5. 団体プロフィール

○鳥取発！体験活動Geoベース会議

《事務局》

鳥取市教育委員会事務局 生涯学習・スポーツ課

〒680-8571

鳥取市上魚町39番地 鳥取市役所第2庁舎4階

電話 0857-20-3362

FAX 0857-20-3364

Eメール kyo-gakuspo@city.tottori.lg.jp

ウェブサイト <http://www.city.tottori.lg.jp>

「体験活動Geoベース」で検索